

ぎょう虫卵検査の実施について

「いまだき、寄生虫なんか…」と思いますが、ぎょう虫卵は平成 10 年頃より集団感染の意識低下により保育園・幼稚園・小学校で多くみられるようになりました。多くの保育園等では、年一回、夏のプールが始まる前だけ実施しているようですが、昼寝用フンでも感染は広がりますので、当園ではフン乾燥消毒を毎月、ぎょう虫卵の検査を年 2 回実施しています。

【ぎょう虫卵があるときの症状】

- 肛門のまわりのかゆみ
- 夜泣き、寝つきが悪い
- 神経質(イライラ、落ち着きがない)
- 注意力散漫
- 食欲不振、腹痛、便秘、下痢



ぎょう虫卵

【画像出典：国立感染症研究所】

このような症状が出る場合があります。ぎょう虫駆除の薬を家族全員で飲めばなおります。

【予防法】

- ツメは短く切りましょう。
- 食事の前や、外から帰ってきた時は、石鹸でよく手を洗いましょう。
- 掃除機をまめにかけましょう。
- フンはよく日光に当て、十分湿気をとりましょう。
- 毎日入浴し、下着も毎日取り替え、清潔にしましょう。

ぎょう虫卵の検査は、検便ではなく、セロハンテープによる「肛門周囲 2 回検査法」で行います。特殊な粘着性のテープを肛門のヒダをのぼした状態で強く押しつけて、そのテープについた卵を顕微鏡で調べる方法です。朝、目が覚めたときに、そのまま寝床の中でテープを肛門にあて、上から 5、6 回押さえ込むようにします。しっかり押さえるのがコツです。

開封部を左右に引っ張ってセロハン部分が出ないようにします。
セロハン部分を開きます。



お子さんをヒザをついて動かないようにし、のりの付いた面を肛門に押しつけます。



7月2日(火)から7月5日(金)までの間の2日間連続で、朝起きたら、排便前にお尻に当ててください。そして・・・

7月6日(土)までにご提出ください。